

世界史学ブース 史料をオリジナルで読む

歴史研究は史料を正確に深く読むことから出発します。そのため世界各地・各時代の歴史研究を行っている世界史学では、さまざまな言語で書かれた史料を読み解く必要があります。世界史学ブースでは4名の報告者にそれぞれの専門領域のオリジナル史料を解説してもらい、参加者に歴史研究の現場を体験していただきます。

報告者：タイトル（言語） 各20分

木村 容子：中世末期イタリアの遍歴説教－無名フランシスコ会士の日誌（ラテン語）

村田 光司：貨幣史料からみるビザンツ帝国史（ギリシア語）

有田 豊：ヴァルド派「異端」文書を読む（古プロヴァンス語）

金 甲鉉：書院記と手紙を通じてみる宋代書院（漢文）